

指定管理者評価表(外部評価シート)

1. 基本事項

施設 の 概 要		評価対象期間		令和3年4月1日 ~ 令和5年3月31日	
施設 の 概 要		指 定 管 理 の 状 況			
名 称 及 び 所 在 地	中央児童センターにこっと	可児市下恵土一丁目100番地	指 定 管 理 者	名 称	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社
	帷子児童センター	可児市東帷子1024-6		所 在 地	東京都調布市調布ケ丘三丁目6番地3
	桜ヶ丘児童センター	可児市臯ヶ丘6-1-1	指 定 管 理 期 間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日 (2期目)	
	兼山児童館	可児市兼山674-1 観光交流館2階	選 定 種 別	公募	利用料金制
設 置 目 的	児童福祉法(昭和22年法律第164号)第35条の規定に基づき設置した児童厚生施設であり、児童を健全に育成することを目的とする。		業 務 内 容	児童館の運営管理、児童の健全育成を図る業務、児童のための地域組織活動の育成、施設の維持管理、児童館の設置目的に必要な事業	
供用開始年月	中央(平成30年5月)、帷子(昭和58年4月)、桜ヶ丘(平成4年4月)、兼山(平成17年5月)				
施設所管部署	こども健康部 子育て支援課				

2. 施設の運営状況

① 利用状況

項 目	令和3年度(1年目)	令和4年度(2年目)
開館日数	中央:319 日	347 日
	他3館:246 日	272 日
施設利用者数	33,515 人	59,830 人

② 自主事業実施状況

項 目	令和3年度(1年目)	令和4年度(2年目)
開催回数	- 回	- 回
参加人数	2,487 人	3,543 人

※回数記載なし

③ 主な自主事業の内容

実施年度	事業の名称等	参加人数
R4	チャレンジ	532 人
R4	ひよこっこ	921 人
R4	あそびの教室	1,097 人
R4	かずせんせいとあそぼう	25 人
R4	栄養士による食育活動	10 人
R4	子育て相談活動	790 人
R4	こども運営委員会	168 人

3. 収支状況

① 収入

単位:円

項 目	令和3年度(1年目)	令和4年度(2年目)	
	実績	計画	実績
指定管理料	54,846,000	54,846,000	54,846,000
利用料収入			
自主事業収入	120,000	80,000	120,000
そ の 他			818,181
収入計 A	54,966,000	54,926,000	55,784,181

② 支出

単位:円

項 目	令和3年度(1年目)	令和4年度(2年目)	
	実績	計画	実績
人件費	41,588,919	39,435,000	39,980,990
管理費(役務費)	6,024,230	5,913,000	6,005,613
事業費	349,000	1,042,000	659,349
事務費	647,078	700,000	459,299
事務経費	7,958,054	7,836,000	7,461,890
そ の 他			
支出計 B	56,567,281	54,926,000	54,567,141
収支 A-B	-1,601,281	0	1,217,040

4. 評価結果

区分	評価項目	評価内容	一次評価(施設所管課)		二次評価(選定評価委員会)	
			評価理由等	評価	評価理由等	評価
業務の履行	事業計画書及び協定書に掲げる業務の実施状況	事業計画書や協定書に掲げる業務が確実に実行されているか	事業計画書に基づき、順調に実行されている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・協定書及び事業計画書に基づき、業務が適切に実施されている。 ・今後は、利用者への周知方法としてSNSの利用を積極的に検討されたい。 ・事業の進捗確認が明確にできるよう、利用人数の目標設定等も検討されたい。 	B
	人員配置及び職員研修の状況	必要な人員が確保され、職員研修も実施されているか	長期休暇期間等利用者が増加する期間の増員配置等、必要な人員配置を行った。社内研修の実施、また県児童館連絡協議会主催の研修等に参加することで、職員のスキル向上に努めた。	B		
	文書・帳簿の管理保存状況	管理業務に関する文書・帳簿は適切に整理保管されているか	適切に実行されている。	B		
	施設設備・備品の保守管理の実施状況	管理施設の設備・備品の保守管理状況は適切か	適切に管理されている。	B		
	緊急時の対応方法	緊急時の対応マニュアルや事後の対応への備えができていますか	危機管理マニュアルや不審者侵入時対応マニュアルを整備している。また、嘔吐物の処理方法など実践形式の研修を行った。	B		
	利用者の推移	利用者が特別な事情がないにもかかわらず前年度に比べ減少していないか	コロナ禍で大幅に減少した利用者が、徐々にではあるが回復傾向を示している。	B		
サービスの水準	サービス向上及び経営改善に関する独自の取り組み	サービス向上等に向けた独自の取り組みは実施されているか	幼児、小学生、中学生など幅広い年代が参加できる行事を実施するなど、異学年が交流できる場を設けた。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響で、開館日数、施設利用、稼働率が減少したが、持ち帰りの工作を提供したり、個別相談に応じる等の工夫がなされている。 ・アンケート結果から満足度は高いが要望も多いようなので、出来ることから改善されたい。 	B
	利用者満足度調査における施設満足度	利用者の施設満足度は高いか	アンケート結果から、おおむね満足いただいていることがわかる。具体的な要望等も挙げられているので改善につなげられたい。	B		
	PR・情報提供の実施状況	様々な方法により、積極的なPRや情報提供が行われているか	毎月発行される児童センターだよりを市役所、地区センター、子育て健康プラザ、幼稚園、保育園、自治会へ配付。子育て情報誌おおくなあれ(月刊紙)への掲載や、ホームページで適切に情報発信が行われている。	B		
	苦情処理の状況	苦情に関する帳簿が作成され、内容は職員に周知され、適切な対応がなされているか	苦情があった場合に適切な対応と、市への報告、職員間での情報共有を行っている。	B		
収支状況	指定管理施設の経理事務の状況	指定管理施設に関する経理事務は適正に行われているか	適正に実行されている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理費に関する経理事務及び指定管理施設の財政状況は概ね適正である。 ・現預金及び短期貸付金にやや懸念があるが、運営への支障は現状認められない。 	B
	指定管理者の財務状況	指定管理者の財務状況は適正か	1年目は赤字となっているが、2年目は黒字となり改善の取り組みが窺える。	B		
総合評価			コロナ禍により、閉館、時間制限、人数制限、消毒、換気等、あらゆる対応を余儀なくされる中、その時々で可能な活動を模索しながらよく工夫して適正に事業運営されている。	B	「所見」欄に記載	B

所見	<ul style="list-style-type: none"> ・中高生の利用促進を目指した取り組みが不十分であると思われるが、利用者が概ね満足していること、コロナ禍の影響を受けながらも、創意工夫により利用者寄りになった取り組みをしていること等が評価できる。 ・子どもの居場所としての児童館であり続けるために、職員の待遇や働きやすさを考慮しながら、「子どもの最善の利益」を追求し続ける運営を期待したい。 ・業務は全般として適正に運営されており、指定管理者の特長を活かした活動を引き続き実施するとともに、今後も子育て世代の抱える問題に適切に対応していくことを期待する。
----	---

5. 参考(評価基準)

① 区分別評価基準

◆業務の履行

評価	内 容
A	適切に実施されており、より効果的に業務が実施されている
B	適切に実施されており、特に改善等を要する事項はない
C	おおむね適切に実施されているが、その一部に改善を必要とする事項が見受けられる
D	要求事項が実施されていないか、実施されていても適切ではないため大幅な改善が必要である

◆サービスの水準

評価	内 容
A	サービス水準の向上が認められ、独自の工夫も多く見受けられる
B	サービス水準はおおむね維持されている
C	サービス水準の一部に低下が見られ、サービス向上の努力が必要である
D	サービス水準が低下していると認められるため、サービス向上に向けた大幅な改善が必要である

◆収支状況

評価	内 容
A	収支は計画に比べ向上が見られる。財務状況も良好である
B	収支はおおむね計画どおりと認められる。財務状況は良好である
C	収支のいずれか、又は両方が計画を達成していない。財務状況は良好である
D	収支のいずれも計画を達成していない。財務状況も良好とはいえない

② 総合評価基準(評価指標の①②のいずれかの基準を採用し、評価を決定する)

評価	内 容
A	① 全ての評価がB以上で、Aの割合が60%以上である
	② 適切に実施されており、評価できる点が多く、改善が必要と思われる重要事項もない
B	① 全ての評価がB以上で、Aの割合が60%未満である
	② おおむね適切に実施されており、評価できる点もあるが、軽微な事項を含め改善が必要な事項がある
C	① A・Bに該当せず、Dの割合が30%以下である
	② 適切に実施されている部分もあるが、改善が必要と思われる重要な事項もある
D	① 上記のいずれの評価にも該当しない
	② 改善が必要と思われる重要な事項が多く、早急な改善が必要である